

大河原町長 伊勢 敏

正月元旦、大学の冬休みで帰省中の二男の運転手を兼ね、宮城蔵王白石スキー場に行つた。もちろん、安全運転に心掛けた。小生はスキーを嗜まないが、年始休暇の1日はほぼ毎年スキー場の休憩所で過ごし、1年の計を立てたり、読書三昧に耽つたりしてきた。

さて、1月15日未明、長野県軽井沢町でスキーツアーバスが転落、15人が死亡するという痛ましい事故が発生。15人の内13人がこれからまだ未来のある大学生、本当に残念で心からご冥福を祈る。報道によると、事故を起こした65歳の運転手は先月採用されたばかりで、以前の勤務先で大型バスの運転経験はなく、採用面接の際、「大型バスの運転は不慣れ」と話していたとのことである。また、バス運行会社の法令違反の常態化、さまざまな運行管理や労務管理、並びに、採算優先のツアー企画が事故の背景にあったと指摘されている。

一方、1月19日、石井国交相が閣議後の記者会見で、2015年の訪日外客数が前年比47・1%増の過去最高の約

年別外客数:万人	前年比(伸び率:%)
2015	1,974 47.1
2014	1,341 29.4
2013	1,036 23.9
2012	836 34.8
2011	621 ▲27.9
2010	861 26.8
2009	679 ▲18.7
2008	835 0.0
2007	835 13.6

1974万人と発表した。政府が掲げた訪日外客数の目標は5年早くほぼ達成したが、この目標を上方修正するには課題が多すぎる。外客数の多い東京、大阪、京都で深刻化する宿泊施設不足、また、全国的に不足する大型観光バス運転手の不足はとくに深刻である。大型バスの運転に不慣れた運転手を雇わなければならぬ状況は、現代日本社会の縮図とも考えられる。

利益優先、安全軽視の体質を露呈した今回の事故は我が国観光への信頼を損なった。恥ずかしいことに国際語にもなったKaroushi(過労死)するほどの我が国「働き過ぎ社会」にもかかわらず200万人を超える失業者の存在、未婚率を上昇させる

一つの原因である派遣労働者やパート・臨時といった非正規労働者の増加、低賃金を主な理由とする看護・介護・保育などの分野における人材不足等々の実態があり、一億総活躍社会の実現に至る道は「遙か遠い」、と言わざるを得ない。長く、右の実態を容認、放置或いは促進してきた我が国社会風土の上には、一億総活躍の『花』は咲かない。働く人を大切にしない風潮が蔓延している。働き方を変革し適正な賃金が保証されない限り、今回のバス事故はおろか、人口減少、子育て環境の充実、高齢者施設の不足という今後の重要課題の解決は困難であろう。平成19年1月施行の観光立国推進基本法は理念として、「住民が誇りを持てる地域社会への発展」を謳っている。今回のバス事故の背景、労働条件の底が抜けた絶望の非正規という病巣にメスを入れ、働く人が尊重される社会への変革が実現しない限り、国民が誇りを持てる観光立国は不可能と思えてならない。

スイスの最低賃金は1時間3000円。「これは理想に過ぎない」と言う限り、一億総活躍社会は到来しない。



「まちの本棚」

駅前図書館今月の新刊

一般/『クッキングパパ』人気レシピ
うえやま とち/著 監修【講談社】
日本最大の料理レシピサイト「クックパッド」が、30年続く連載漫画「クッキングパパ」のレシピを完全再現！田中の「くーたらおでん」、クッキングパパの「元祖おにぎらず」など人気料理56品を厳選収録する。
小説/『ブルーアウト』 鈴木 光司/著【小学館】
和歌山県串本町のダイビングショップで働く女性ダイバー水輝のものとを、トルコ人青年が訪れる。彼の目的は、125年前、祖先を乗せた軍艦「エルトゥールル号」の遭難現場である物を探ることだった。史実に着想を得た海洋小説。
児童/『大村智ものがたり』 馬場 錬成/著【毎日新聞出版】
熱帯地方には、小さな寄生虫きせいちゅうが引き起こすオンコセルカ症(しよ)と云うのがおそろしい病気があります。大村智(おおむらさと)先生は、この病気にかからない薬を開発して、ノーベル賞をもらいました。大村智先生がノーベル賞をもらったまでの道のりを紹介しようかします。


マーカスライスター/作 谷川 俊太郎/訳【講談社】
とつぜんあらわれた「いるとりどり」は、たいくつなクラスたちにつたえとダンスをおしえることに。ひだりへクルカア、みぎへクルカア、あさからクルカア、ひるでもよるでもクルカア、クルカア…。はじめはちよつとはずかしそうだったカラたちも、すくにおどりにむちゅうになつて…。

駅前図書館と金ヶ瀬公民館図書室は蔵書点検のため、2月15日(月)から25日(休)まで休館となります。

絵本がいっぱい!!

町内施設の絵本コーナー

町内には、駅前図書館のほかにも、絵本コーナーが設けられている施設があるのをご存知ですか？各施設の開館中は自由に閲覧ができ、絵本の貸し出しも行ってまいりますので、ぜひご利用ください。

施設名	施設の絵本コーナー	開放時間等
<p>■ 世代交流いきいきプラザ</p> 	<p>建物の中には「放課後児童クラブ」や「子育て支援センター」があり、ロビーには約1,800冊の絵本が置いてあります。ロビーはどなたでも自由に利用することが出来ます。絵本の貸し出しは事務室にお声掛けください。</p>	<p>開放時間： 午前9時～午後5時 休館日：土・日・祝 ☎ 0224-51-9299</p>
<p>■ 中央公民館</p> 	<p>入口を入って右手に「絵本コーナー」があります。絵本の数は約350冊で、これからどんどん増える予定です。静かにゆったり過ごすことができ、手作りのディスプレイも楽しんでください。貸し出しは事務室にお声掛けください。</p>	<p>開放時間： 午前9時～午後5時 休館日：月・祝 ☎ 0224-53-4050</p>
<p>■ 金ヶ瀬公民館図書室</p> 	<p>建物の玄関前に小さな図書室があります。絵本と児童書が約4,000冊あります。閲覧は自由で、貸出には駅前図書館の図書カードが利用できます。</p>	<p>開放時間： 午前9時～午後5時 休館日：月・土・日・祝 ☎ 0224-52-6635</p>
<p>■ 駅前図書館</p> 	<p>駅前ビル「オーガ」の中にある駅前図書館には絵本が約7,000冊、児童書が約1万冊など全部で約5万冊の本があります。絵本コーナーは図書室の奥にあり小さなテーブルやイスがあり、親子でゆったり過ごすことができます。大きな絵本や紙芝居もあり、定期的に「絵本のお話し会」も開催しています。</p>	<p>開館時間： 午前10時～午後6時 休館日：月 ☎ 0224-51-3330</p>

※町年末年始や臨時の休館日があります。詳しくは各施設にお問い合わせ下さい。